

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Box for drawing illustrations.



●ひとつしかなない命を大切に

稲毛田 駿河富夫さん
皆さん、交通事故緊急広報を見ましたか(9月2日発行)芳賀町内で1週間に2件の死亡事故があったことを!

私たちは常に交通安全を考えて運転しています。また、歩行者も安全を考えて歩いていると思います。しかし、現実には守られていないことがあります。だから、交通事故が起きてしまうのです。私も運転する1人として考えてみました。

○危険とは?
：はずだった運転をしている。○安全とは?
常に危険予知で「...かもしれない」運転をすることだろう。それでは事故を起こさないことは? 具体的には?
①しっかりと見て安全を確認する。人も自転車も。
②速度は意識して控える。

③運転するときには安全運転に徹する。
④夕暮れ時、ヘッドライトは早めに点灯する。
⑤常に危険を感じて運転することだろう!と、私は思っています。お互いの「命」の大切さを感じながら安全運転で、安全で快適な生活をエンジョイしたいものです。
最後に加害者や被害者にならないように、一人ひとりが交通事故防止に努力しましょう。

●年金は誰のためにあるの

Aちゃんさん
年金問題が社会をゆるがしている。我が家も数年前に、家族会議で年金の話がされた。第一姫が大学生で20歳になったときに、社保庁から年金払い込みの通知が来た。子どもは同級生で年金を払う人がいないから加入しないとのこと。社保庁へ連絡すると、学生免除があるが最終的には免除分も払うことになるので、今払った方が得なので払ってくださいとのこと。親としては年金を払っておいでやりたい。結局、卒業までは親が掛け金を払うことになった。第二姫のときは、若い人が

年金を払わないため学生免除申請をするようにと通知が来て、親としての年金払い込みがなくなった。もっと早くこの制度を作ってほしかった。ご主人のばあさんの口癖は「国は良い制度を作ってくれた」。我が家で年金をもらっているのは、ばっちゃんだけで掛け金を払わないで、受給している。厚生年金のため小遣いには困らない。このため家計費は潤っている。
年金は誰のためにあるのか。相互扶助を国は狙っていると思う。掛け金を払う平民は、自分のために老後を考え、長い間掛け金を払っていると思う。平民の老後の願いを食いついてお役人は裕福な暮らしをしてきたようである。僕が年金をもらうのは65歳からとのこと。約束とは異なってきた。
若い人には強制的に入らせるのではなく、制度を説明し、もらうときになってのリスクも説明すべきだと思う。最後に年金に加入した人は、年金ももらわないで終わるような気がするの、僕の浅はかな考えだろうか。

雑感



芳賀町長 豊田征夫

町職員の資質向上をめざして

活気ある、魅力あるまちづくりに必要なことは、町民力を生かしたまちづくりと、職員力のある役場づくりを通して地域力を育てること、あきらめムード、お任せムードを無くすことだと思います。それには、まず町職員が町民の皆さんの要望に応えることが求められています。常に「最小の経費で最大の効果」をあげられるように努め、職員資質のより一層の向上を図り、可能性・能力を最大限引き出していくことが必要です。

- ① 町民「下」を理解し、町民の皆さんとともに考え、信頼に込める職員
 - ② コスト意識を持ち効果的に職務を遂行できる、経営感覚のある職員
 - ③ 時代の変化に対応できる、想像力豊かな職員
 - ④ 担当する業務の問題点を見だし、整理・分析して、問題解決のできる職員
 - ⑤ 常に自分の目標を掲げ、自己啓発に努める職員
- 以上のような職員を育成するため、町では人事評価制度を実施しています。この人事評価制度は、勤務年数や職位により必要な能力を評価しながら、求められる職員を育成しようとするものです。また、各課組織の業務実績を評価し、事務事業を行う過程をチェックして効率的な行政運営を図っていきます。さらに、今後は人事評価制度の精度を高めることで、職員の処遇や人事異動へも反映させていく考えです。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。